

エイシンアポロン、イモータルヴァース ギリシャの神々の怒りが爆発！

これまでの実績から見れば、イモータルヴァース（牝3）で鉄板だ。なにしろ、欧州No.1マイラーと呼べるゴルディコヴァ（BCマイル3連覇馬）を、8月のジャック・ル・マロワ賞で破っている。いまは便利な時代で、世界中のほとんどのレースがユーチューブにアップされているので、それでこのレースを見ると、イモータルヴァースの勝ち方は、欧州競馬としては常識破りだ。

ドーヴィル競馬場の直線マイルコースで、イモータルヴァースは最後方から追い込んで勝っている。外ラチ沿いをグイグイ伸び、ゴルディ

コヴァには1馬身の差をつける完勝である。これなら、京都のマイルは、よほどの不利がなければ難なくこなせるだろう。



Immortal Verse

それにしても、フランス調教馬なのに、なぜ「Immortal Verse」という英語名なのだろう？ Immortal は、「不死の」「不滅の」「永遠の」という意味でverseは韻を踏んだ「詩」。たぶん、両親

からの連想で馬名をつけたのだろう。

父のPivotal (ピヴォタル) Pivotalは「重要な」という意味。母のSide of Paradise (サイド・オブ・パラダイス：楽園のこちら側) は、スコット・フィッツジェラルドのデビュー作のタイトルだ。この馬の兄はラストタイクーンで、これもフィッツジェラルドの作品ノート『The Love of the Last Tycoon』から来ている。

とすれば、Immortal Verse＝「不滅の詩(うた)」は、こんなところで負けてはいけないだろう。

と書いてみたが、本当に買うのはエイシンアポロンにした。というのは、今週は「飛ばし」が発覚したオリンパスの事件で、週刊誌、経済誌はもちきり。その前は、大王製紙の御曹司の不正使い込み事件、ギリシャの国債問題と、な

ぜか、「神」（紙）が連想される話題が多いからだ。オリンパスにしてもギリシャ国債にしても、神々は怒っているだろう。

なら、ギリシャ神話のアポロンの神に、この世の悪を一掃してもらおう。本当は、もっと人気薄にしたいが、踏みとどまって、エイシンアポロンの単、複と、イモータルヴァースへの馬単、抑えの馬連。この4点に絞った。